

氏名は、自筆もしくは入力でも可。押印の必要はありません。
(以下の様式すべて同じ)

[illegible]

備考：規格はA4とする。

学 術 研 究 業 績 一 覧

自筆もしくは入力でも可

主要学術研究業績の概要に記載するものは当該学術書、
学術論文等の題名の前に○を付してください。

令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

氏名 鹿屋 太郎

著	題	名	図書・雑誌名	巻・号・頁	発行年月	その他（発行所 又は発表場所）
[学術書] 鹿屋太郎	○ Aが…に及ぼす影響		〇〇〇〇	全〇〇頁	2010 年 10 月	〇〇出版社
〇〇〇〇、 <u>鹿屋太郎</u> 、 〇〇〇〇	○ Bの…に関する検討		〇〇〇〇	〇一〇頁	2018 年 月	〇〇書院
学術書、学術論文等に記載された順に記入してください。 共著の場合は、自分の氏名に下線を付けてください。 学術論文は、題名の後に査読の有無を付けてください。 また、責任著者である場合は、題名の後に（責任著者論文）を付けてください（<u>単著または共著で第一著者の場合は（責任著者論文）を付ける必要はありません。</u>） 責任著者…corresponding author も同義。当該論文の共著者の代表責任者として、学術論文の投稿・審査等において編集委員会等に対応し、当該論文発表後も問い合わせへの対応を行う者をいう。 学術書、学術論文等の事ごとに、古いものから順に記入してください。						
[学術論文] 〇〇〇〇、〇〇〇〇、 <u>鹿屋太郎</u>	○ Cの…に関する研究（責任著者論文・査読有り）		〇〇〇〇	Vol. 〇〇、 No. 〇〇、 pp. 〇一〇	2019 年 4 月	〇〇書籍
鹿屋太郎	○ Dの…に関する検討（査読有り）		〇〇〇〇	○巻、○号、 〇一〇頁	2020 年 8 月	〇〇学会
〇〇〇〇、 <u>鹿屋太郎</u> 、 〇〇〇〇	○ Eの…に関する研究（査読無し）		〇〇大学学術 研究紀要	○巻、○号、 〇一〇頁	2022 年 10 月	〇〇大学
[学会発表] <u>鹿屋太郎</u> 、〇〇〇〇、 〇〇〇〇	Fを用いた…の検討		第〇回〇〇学 会抄録集	〇一〇頁	2021 年 5 月	第〇回〇〇学会、 〇〇大学
〇〇〇〇、 <u>鹿屋太郎</u>	Gを用いた…の検討		第〇回〇〇大 会プログラム	p. 〇〇	2022 年 9 月	第〇回〇〇学会、 オンライン

学術論文は、題名の後に査読の有無を付けてください。
また、責任著者である場合は、題名の後に（責任著者論文）を付けてください（単著または共著で第一著者の場合は（責任著者論文）を付ける必要はありません）。
責任著者…corresponding author も同義。当該論文の共著者の代表責任者として、学術論文の投稿・審査等において編集委員会等に対応し、当該論文発表後も問い合わせへの対応を行う者をいう。

学術書、学術論文等に記載された順に記入してください。
共著の場合は、自分の氏名に下線を付けてください。

学術書、学術論文等の事項ごとに、古いものから順に記入してください。

発表場所は、大学名または〇〇県〇〇市〇〇センター等の開催場所を記載。

科学 研 究 費 補 助 金 採 択 状 況

研究種目	採 択 課 題	研究代表者名	配分額	研究期間
基盤（C）	〇〇〇に関する研究	〇〇〇〇	1,000千円	2007年～2009年

単年度分ではなく、総額を記入してください。

受 託 研 究 等

区 分	研 究 題 目	研究代表者名	経 費	研究期間
（財）〇〇協会 学術助成研究	〇〇〇に関する影響	〇〇〇〇	500千円	2006年

主要学術研究業績の概要

自筆もしくは入力でも可

学術書、学術論文等の別に区分し、最も新しい業績から記入すること。

令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

氏名 鹿屋 太郎

学術書等の題名	共著・単著 の別	発行の年月	発行所・発表雑誌等 の名称	概 要
(学術書) Bの…に関する検討	共著	2018 年 9 月	〇〇書院 〇ー〇頁	…の観点から…の変化、…について検討した。 その結果…であった。 担当部分：データ解析 〇〇〇〇、 <u>鹿屋太郎</u> 、〇〇〇〇
Aが…に及ぼす影響	単著	2010 年 10 月	〇〇出版社 全〇〇頁	…することを目的として、…に基づき…について検討した。 その結果…であることが明らかとなった。
(学術論文) Eの…に関する研究 (査読無し)	共著	2022 年 10 月	〇〇大学 〇〇大学学術研究紀要 〇巻、〇号、〇ー〇頁	…の概念を用いて、…を行った。 その結果、…であると考えられた。 担当部分：データ測定、解析 〇〇〇〇、 <u>鹿屋太郎</u> 、〇〇〇〇
Dの…に関する検討 (査読有り)	単著	2020 年 8 月	〇〇学会 〇〇〇〇 〇巻、〇号、〇ー〇頁	…については、これまで…であったが、…の理由から、…を検証した。 その結果、…と示唆された。
Cの…に関する研究 (責任著者論文・ 査読有り)	共著	2019 年 4 月	〇〇学会 〇〇〇〇 Vol. 〇〇、No. 〇〇、 pp. 〇ー〇	…について焦点をあて、…の手法により、…を行った。 その結果、…が重要であると示唆された。 担当部分：研究全体の推進 〇〇〇〇、〇〇〇〇、 <u>鹿屋太郎</u>

共著の場合は担当部分を明記し、本人の氏名を含め、著作者全員の氏名を当該学術書、学術論文等に記載された順に記入してください。本人の氏名には下線を付してください。

200 文字以内で記入してください。

学術論文は、題名の後に査読の有無を付けてください。また、責任著者である場合は、題名の後に（責任著者論文）を付けてください（単著または共著で第一著者の場合は（責任著者論文）を付ける必要はありません）。

競技業績・指導業績一覧

自筆もしくは入力でも可

令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

氏名 鹿屋 太郎

○競技業績

大会名	年月日	場所	記録	備考
鹿児島県〇〇体重別選手権大会	平成 15 年〇月〇日	鹿児島県	〇位 〇〇kg級	
全日本〇〇体重別選手権大会	平成 16 年〇月〇日	東京都	〇位 〇〇kg級	
アジア〇〇選手権大会	平成 17 年〇月〇日	韓国・ソウル	〇位 〇〇kg級	
古いものから順に記入してください。				
ご自身の当該競技等（発表、制作及び公演等を含む。）に関する達成の場（大会、競技会等）及び達成の内容（記録、順位等）について記入してください。				
監督、コーチなどを記入。				

○指導業績

年月日	事項	備考
平成 30 年〇月〇日	全国高等学校総合体育大会〇〇県予選 〇〇kg級 優勝	コーチ
平成 31 年〇月〇日	全国高等学校総合体育大会 〇〇kg級 準優勝	コーチ
令和 2 年〇月〇日	全日本学生柔道優勝大会 〇〇kg級 4 位	監督
古いものから順に記入してください。		
当該競技等（発表、制作及び公演等を含む。）の指導における関与の状況（監督、コーチ等）、当該競技等の指導に関わる達成の場（大会、競技会等）及び達成の内容（記録、順位等）について記入してください。また、指導業績に関連のある資格等があれば記入してください。		

教育等業績一覽

自筆もしくは入力でも可

令和 〇〇 年 / 〇〇 月 〇〇 日

氏名 鹿屋 太郎

[illegible]

備考：規格はA4とする。

自筆もしくは入力でも可

氏名 鹿屋 太郎

[illegible]

研究計画及び教育方法改善に関する調書

自筆もしくは入力でも可

令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

氏名 鹿屋 太郎

○研 究 計 画

現在研究中であるもの及び今後の研究計画について記入してください。

○教育方法改善

これまでの教育方法改善の事例及び今後の教育方法改善の抱負等を記入してください。